

2021年9月16日(木) 16時

令和3年度 秋入学式

令和3年度秋の入学生として、大学院博士前期課程に2名、そして博士後期課程に1名の学生を迎えることになりました。ようこそ福岡女子大学にお越しくださいました。お一人は、国費留学生として、ヨーロッパのセルビアから本学を選び取ってくれました。福岡女子大学は小規模ながら古い歴史を持ち、多彩な研究者が揃う、評価ある大学です。教職員一同、自信と誇りをもって、皆さんをお迎えいたします。

大学院は、学問的関心を追求するところです。リサーチ・クエスチョンの設定、先行研究の確認、文献の渉猟、仮説にもとづく実験あるいは調査、そしてその解釈など、厳密な手続きを経て論文を作成しなければなりません。その過程で直接の指導教員はもちろんのこと、他の研究室の先生方、院生たちと大いに対話を重ね、共同作品と言われるほどのものを作りあげてください。良い論文には、ダイアログがたっぷり必要です。

研究の成果が全国レベルの学会で発表できる、との確信を得られるまでは、不安のうちに研究生を送ることになるでしょう。それだけに、手ごたえのある作品ができ、高い評価が得られたときの喜びは、格別です。40年以上も前のことです。私自身、ある先生の研究姿勢に魅せられて、大学院に進学いたしました。先生の研究室でいるだけで、また同じ語りを真似るだけで、世界の舞台にあがれるとの幻想を抱かせてくれるような方でした。また先生は、研究生生活をシンクロナイズド・スイミングに喩えられました。準備に打ち込み、発表に臨む研究者のあるべき姿を、水中での苦しい姿を微塵も見せず、笑顔で息を継ぎ、楽しく演じるスイマーに重ねたのです。入学式に臨むたびに、研究を始めた頃を思い起こします。

ところで大学は、ストイックな生活ばかりではありません。交流、社交の場でもあります。様々なサークルがあり、開放型の美術館もあり、疲れた時にはティータイムができるカフェもあります。こうした環境を存分に活用し、将来、皆さんが依って立つ学問の基盤を、本学で築きあげてください。ご活躍をお祈りいたします。